

Chigasaki Municipal Hospital 【Newsletter】

市立病院 通信

令和3年2月1日発行 第5号

当院の取り組みや健康に関する様々な情報をお知らせします

茅ヶ崎市立病院
～ 健やか・共創 ～

〒253-0042 本村5-15-1

☎0467-52-1111

茅ヶ崎市立病院

検索



“全身の健康”に直結する
“口腔の健康”のプロフェッショナル

市立病院歯科口腔外科スタッフ

歯科口腔外科 小泉文 科部長

横浜市立大学附属病院で研修後、同病院、藤沢市民病院、横浜市立市民病院をはじめ神奈川県内の病院で歯科口腔外科の診療にあたる。令和2年4月に茅ヶ崎市立病院に着任。公益社団法人日本口腔外科学会口腔外科専門医の資格を保有。歯科口腔外科のみでなく、高齢者やがん患者さんに対する口腔機能管理にも診療範囲を拡大する茅ヶ崎市立病院の歯科口腔外科科部長として日々診療にあたっている。



小泉文 科部長(右)
柳田健 医師(左)

歯科口腔外科の守備範囲

茅ヶ崎市立病院の歯科口腔外科はどのような診療科なのかですか。

科部長 食べる、飲む、会話をする、呼吸をする、などの役割をもつ「口腔・顎・顔面」は、健康に暮らす上でとても重要な器官です。それらの器官の治療を歯科は担当しています。医科に内科や外科など専門分野があるように歯科も歯科(虫歯、歯周病、義歯など)、矯正歯科、小児歯科、歯科口腔外科と専門が分かれています。歯科口腔外科は主に口の中での外科処置を専門に行う科です。具体的には親しらずなどの深く埋まっている歯の抜歯、顎関節症、お口のケガや顎の骨折、口内炎など粘膜の病気、顎の骨にできた腫瘍や膿の袋などの病気、進行した虫歯や歯周病が原因で生じる骨炎、骨髄炎、口腔がん、唾液腺の病気、神経痛の治療などを行っています。また、血液をさらさらにするお薬を飲まれている方、糖尿病の方、骨粗しょう症の方など全身疾患をお持ちの患者さんの治療も行います。病院の歯科口腔外科として、全身と口腔との関連を重視しています。

医師 たえば、睡眠時無呼吸症候群の原因が寝ている時に舌が落ちて喉が詰まることである場合があります。その対策として、睡眠時に着用するマウスピースを

お口の機能を維持することで、術後の「QOL」を高めることを目指しています。
医師 同様にがんなどで薬物療法を受ける患者さんに対しても、薬物療法時の口腔管理に精通した歯科衛生士とともに口腔管理を行っています。薬物療法にともなう口内炎、歯や歯茎の炎症、知覚過敏、顎の骨の炎症などのトラブルをチェック・予防し、早期治療を勧めています。より安全安心ながん治療を行うためにかかりつけ歯科と本科、そして各診療科が連携することが重要です。

地域の歯科医、医師と連携するシステムを構築

地域の歯科医との連携はどのようになっているのでしょうか。

科部長 開設前より、茅ヶ崎歯科医師会が地域連携構築に全面的に協力してくださっています。我々歯科口腔外科医はお口の外科処置を専門としており、一般・小児・矯正歯科の専門の先生方、そして全身疾患への対応には医科の先生方にお力をお借りしなければなりません。かかりつけ歯科で定期健診、虫歯や歯周病、入れ歯の治療を、口腔外科で外科処置を、と各専門分野で分担・連携し、お口の健康をすすめていきたいと思えます。

つくり、耳鼻咽喉科や呼吸器内科の先生と連携して治療することもあります。

科部長 また、糖尿病と歯周病は関連することがわかっています。

歯科衛生士 本院では糖尿病教育入院の1項目として、歯周病検査やお口のセルフケア指導を行っています。歯周病が悪化するとインシュリンの働きが悪くなるTNF- α という物質が出ます。さらに、歯も抜けて、血糖値が上がったりやわらかい食べ物しか食べられなくなってしまう。このような糖尿病の悪化と口腔機能低下を起さないように、歯周病管理を行っています。



歯科衛生士がセルフケアを指導します

口腔機能管理で治療の安全性と生活の質「QOL」の向上に貢献

歯科衛生士 糖尿病に限らず、がんの治療や加齢などにより、お口の機能が低下すると、おいしく食べる、

口腔の健康を管理することで生活の質は変えることができる

～歯科口腔外科 新設～

令和2年4月、市立病院に新設された歯科口腔外科。意外と知らない、口腔の健康が及ぼす全身への影響、歯科口腔外科の診療内容について小泉科部長、柳田医師、看護師、歯科衛生士にお話を聞きました。

頼れる存在を目指す

今、一番気になるのは感染症対策です。どのような対策をしていますか。

医師 また、この10年くらいで、がんの骨転移や骨粗しょう症に使われる薬と顎骨壊死との関連がわかってきました。地域のかかりつけ医、歯科医、私たち歯科口腔外科医が連携して、患者さんの投薬状況を確認し、事前に抜歯が可能なかの判断できれば、治療はさらに安全になります。また、投薬中は定期的にお口のチェックをすることも必要でしょう。そのような近隣の医師、歯科医師を巻き込んだ情報共有も、市立病院である本院の役割だと考え、現在システムを構築しているところです。

医師 お口の中の診察をするので、唾液のエアロゾルが飛びやすい環境であることは間違いないです。その中でウイルスに感染しない、させない対策は万



感染症対策を施し行う診察の様子

きちんと話すといった当たり前に感じることがしにくくなり、生活が困難になります。口腔機能を高めることで、みなさんの生活の質「QOL (Quality Of Life)」の向上を目指すことが歯科口腔外科の重要な役割のひとつになります。

医師 現在、お口の機能を測定し数値化して評価し、オーラルフレイル(ささいなお口のおとろえ)を早期発見し、口腔機能低下症になる前に治療につなげる取組を始めています。低下している項目は口腔リハビリテーションとしてトレーニング法の提案などを行っています。

市立病院に歯科口腔外科が開設されたことで、これまでどのようなことが変わりましたか。

看護師 例えば、顎を強く打った方が救急で来院した場合は、これまでは顔面の外傷だけであれば形成外科に対応してきましたが、歯や歯茎、顎に異常があるかどうかについて院内では詳しく診察することができず、地域の歯科医などを改めて受診してもらうしかありませんでした。そのため救急受診が夜間などであれば、患者さんが口の中について診察を受けられるのは翌朝や週明けでした。現在は歯科口腔外科による救急対応も必要に応じて行っていることで、患者さんにとって安心面で大きな違いだと思います。

科部長 本院でがんや人工関節置換などの全身麻酔手術を行う際の周術期(手術前後の一連の期間)、口腔機能管理も本科の重要な仕事です。お口の衛生状態が悪いと術後肺炎や手術のキズの感染をおこすため、徹底的に、歯科衛生士によるセルフケア指導と専門的口腔衛生管理を行います。またお口の中から麻酔のチューブを入れるときに、グラグラしている歯の脱落を防ぐためにマウスピースを作成することもあります。

これらのケアを行うことで、手術後にもしっかりと食事が取れ、早期回復につながることを目指しています。おいしく食事ができないと楽しみがひとつ減りますよね。
患者さんに合わせたマウスピースをつくる機器



患者さんに合わせたマウスピースをつくる機器



治療時に発生する飛沫を吸引する機械を設置し、あらゆる機器にカバーをかけ、患者さん一人ずつ交換します

全を期しています。スタッフの防護服はもちろん、お口に入る器具は消毒、滅菌し、すべての機材にもビニールのカバーをかけ、患者さん一人ずつ交換しています。一人の診察にかかる時間は1.5倍から2倍になりますが、感染者を出さないようにするためには必要な措置です。

最後に、茅ヶ崎市立病院の歯科口腔外科が目指すことを教えてください。

科部長 歯科口腔外科は、「大変な治療をするのではないか」「痛い」「こわい」というイメージを持たれる方が多いです。本院に歯科口腔外科があるということは、お口に心配のある方にとって身近な地域に頼れる場所が増えたと考えていただけると幸いです。

私たちは一人ひとりの患者さんに寄り添う医療を志すことはもちろんですが、地域の医療従事者のみなさんに連携をお願いし、茅ヶ崎の医療を支える一員になれるよう日々努力していきたいと思えます。



リラックスして診察を受けてもらえるよう制服の袖にはえぼし麻呂がいます

市立病院の緩和ケア

近年、がんは日本人の二人に一人がなると言われており、私たちにとって身近な病気となっています。こうしたなか、重要視される「緩和ケア」について聞きました。

がん患者の治療に 告知から関わる

緩和ケアは、初めはがんやエイズなどの積極的な治療が行われなくなった終末期医療の一環で、肉体的、精神的な苦痛を和らげることに重点を置く医療でした。この10年間でその概念は大きく変わっています。

本院の緩和ケアチームで週に2回、非常勤医師として診療にあたる八戸^や医師はいます。

「今は、がんの告知段階から緩和医療が関わることで、世界的なスタンダードになってきています。現在の緩和ケアは、決して患者さんの最期を前提とした医療ではありません。緩和ケアチームが関わるようになったことで、痛みや吐き気などがんによる症状が改善し、がんの積極的治療が開始できたケースもあります」



医師、看護師のほか多職種による緩和ケアチームメンバー

緩和ケアを専門とする医師 がいる緩和ケアチーム

本院では緩和ケアを専門とする医師、公益社団法人日本看護協会緩和ケア認定看護師などのスタッフがチームの中心となり、質の高いケアを行っています。

本院の緩和ケアチームは、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士で構成され、病気による痛みや積極的治療による薬の副作用のほか、患者さんの精神的な不安にも対応しています。2年前からは、がんだけでなくALS、末期の心不全、腎不全、肝硬変にも対象が広がっています。

肉体的、精神的苦痛というのは、ときに言葉で表現しにくかったり、目に見えにくかったりすることもあります。そのため緩和ケアスタッフに求められるのは医療に関する専門知識だけでなく、患者さんとのコミュニケーション力。

「主治医には不安な気持ちや質問などの話をしにくいという患者さんが、緩和ケアチームには話してくれるということも多いです」

日頃から患者さんに接している看護師はそう話してくれました。

話を聞き、声をかけ、一緒に考える。それだけで苦痛が和らぎ、問題が解決することも少なくないそうです。

院内、地域と連携し、 患者さん、ご家族に寄り添う

「茅ヶ崎市立病院には多くの診療科がありますが、診療科間の風通しがよく、緩和ケアチームとの連携もスムーズにできている部署が多いです」

多くの医療現場で緩和ケアの現場を見てきた八戸医師はいます。

「地域や在宅医療との連携も進んできており、患者さんやご家族が、在宅、入院を選びやすくなっていると思います」

患者さんだけでなく、ご家族の話を聞き、疑問に答え、寄り添っていくことも緩和ケアの大切な役割です。

「積極的な治療を続けるケースでも止めるケースでも、患者さんとご家族が後悔しないように選択するサポートをしたい」と、八戸医師。

患者さんが希望することをあきらめることなく、最期の瞬間まで自分らしく生きていくために頼られる存在でありたいと、緩和ケアチームはいつも考えています。

ご寄付をありがとうございました

医療機関での医療物資不足に関する各種報道等を受け、複数の企業様よりご寄付をいただきました。本院へご配慮いただきましたことに、心より感謝申し上げます。

ご寄付いただいた品々は、職員や患者さんのために大切に使用させていただきました。



寄付者	寄付品
プレミアグループ株式会社様	サージカルマスク、防護服、ガウン、フェイスシールド、ゴーグル
株式会社湘南ベルマーレ様	ポンチョ、マスク
森永製菓株式会社様	inゼリー
[Save Doctor, Serve Lunch] プロジェクト様	弁当、アイスクリーム、チョコレート
株式会社セブン-イレブン・ジャパン様	飲料水

※令和2年6月時点において公表の了承を頂いている寄付内容をご紹介します。

茅ヶ崎市立病院 在り方検討委員会

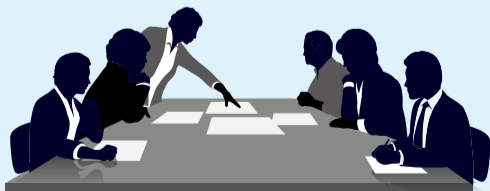
茅ヶ崎市立病院の経営形態や今後の在り方などについて議論を行うため、有識者や市民等から構成される審議会を新たに設置しました。2月25日(木)から5回程度(予定)に渡って集中的に議論が行われます。会議の傍聴は可能です。なお、傍聴される際は、新型コロナウイルス感染症の防止に係る対応について、ご協力をお願いいたします。

*市民委員を1月4日(月)から2月3日(水)まで募集しています。(詳細は広報ちがさき1月1日号に掲載しています)

第1回 茅ヶ崎市立病院在り方検討委員会

日時 2月25日(木) 14時から2時間程度
場所 茅ヶ崎市立病院第2・3会議室

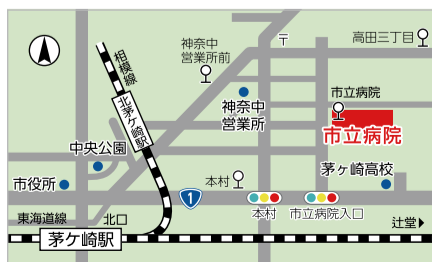
市民委員の募集、第2回以降の審議会の日時については、市HP・市立病院HP、または病院経営企画課(52-1111)までお問い合わせください。



紹介状をお持ちください

初期の医療は患者さんの身近にある診療所が担い、診療所が対応できない医療は地域の基幹病院が担うという医療機関の機能分担の推進を目的として、市立病院など400床以上の地域医療支援病院では選定療養費の徴収が義務づけられています。

他の医療機関からの紹介状を持たずに市立病院を受診する場合は、通常の初診料のほかに選定療養費として5,500円(税込)をご負担いただきます。



茅ヶ崎市立病院

☎0467-52-1111

- ◇受付時間=午前8時30分~11時
- ◇診療時間=午前9時~午後5時
- ◇休診日=土・日曜日、祝日、年末年始